

## 来賓祝辞



つがる市長 福島 弘芳  
(つがる市教育委員会教育長 葛西 岷輔 代読)

本日、「第39回青森県少年の主張大会」がこうして多くの皆様のご参加のもと、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げるとともに、つがる市にお越しいただいた皆様を市民を代表して心より歓迎申し上げます。

また、昭和54年の「国際児童年」から39回の長きにわたり本大会の開催に尽力されている青少年育成青森県民会議の皆様敬意を表したいと思います。

本大会の趣旨は、中学生の皆さんが日頃から考えていること、感銘を受けたことなどを自由に飾らない言葉で発表することにより、次代を担う青少年としての自覚と自主性を育てるとともに、広い視野に立って物事を考える力を養う機会であると伺っております。

この後、県内各地から応募があった中から選ばれた8名の生徒による発表が行われますが、悩んだり、迷ったりしながらも自ら思い描く心の声を、ご家族やご友人に向けて、まっすぐに表現していただければと思います。

また、会場に来ている生徒の皆さんにとっては、同じ世代の中学生が日常生活の中でどのような思いを持っているのかを知ることができることと、共感できることがたくさんあると思います。

この大会が自分自身を見つめ直す絶好の機会となることを期待しております。

なお、発表の後には「白神山地を守る会」の永井雄人先生による講演がございます。

白神山地を守り、その魅力を伝えていく活動を通してのお話を伺えるものと思います。永井先生には、ご多忙中にも関わらず、つがる市へおいでいただき感謝申し上げます。

結びにあたり、県内全ての青少年の健やかなる明るい未来と今大会の成功を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。